

# Interface

MIYUKI HOSPITAL MAGAZINE

インターフェイスとは「つなぐ部分」のこと。この広報誌を皆様とのつながりのまっけにしていきたいと考えています

御幸病院広報誌  
【インターフェイス】



2009.  
Summer  
Vol.7



M i y u k i n o s a t o

●特集

患者様とご家族を心身ともに支える  
健康生活のベストパートナーを目指して

- 「みゆきの里 健康と食のまつり」開催
- 統合医療 ●地域のドクターからのメッセージ
- 和楽ってこんなところ! ●今後の行事予定
- ニュースリリース ●担当医表



ごあいさつ



医療法人 博光会 理事長  
**富島 三貴**  
Miki Tomishima

御幸病院では療養病床43床を平成21年7月、回復期リハビリテーション病棟に転換いたしました。これで当院の回復期リハビリテーション病棟は、2病棟85床となりました。回復期リハビリテーション病棟増床に伴い、リハビリテーション専門スタッフ、ソーシャルワーカー、看護師を増員し、また病棟内の改修も行いました。

連携先の皆様方に現場を見て頂いたり、スタッフと交流していただく為の見学会も計画しています。

これまで以上に、患者様をスムーズに受け入れられるよう体制を整え、療養環境を改善していきたいと思っております。これを機により一層、急性期病院をはじめとした医療機関や福祉施設、患者様のご家族や地域と連携を取りながら、一同頑張っております。どうぞよろしくお願いいたします。

今回の特集は、御幸病院の「リハビリテーション室」です。昨年度から訪問リハビリにも力を入れ、在宅復帰のフォローも行っています。御幸病院「リハビリテーション室」の取り組みをご紹介します。

みゆきの里グループ

◆軽費老人ホーム 富貴苑

◆ケアハウス ピオニーガーデン  
◆特別養護老人ホーム みゆき園

◆ウェルネスクエアー 和楽  
◆小規模多機能ハウス ほがらか

◆介護老人保健施設 ぼたん園  
◆レストラン ピオサルーテ



# 患者様とご家族を心身ともに支える 健康生活のベストパートナーを目指し



## ご自宅に近い環境で 実践的なリハビリを提供

「その人らしい、心豊かな生活の再建(全人間的復権)を目指して、利用者の方とご家族の健康生活のベストパートナーでありたいのです」と語る御幸病院総合リハ室の黒土室長。患者様ご本人はもちろん、ご家族や病棟スタッフとの密な連携とコミュニケーションを大切に、初期医療からターミナルケアまで、充実し安心していただける医療サービスを提供しています。

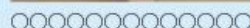
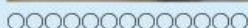
御幸病院には、1階にある約350㎡の広々とした総合リハビリテーション室のほかに、二つの回復期リハ病棟内にもそれぞれリハ室を設置。「病院でできていたことが、家

庭でできなくては意味がない」と、南3病棟のリハ室には畳の間やキッチンを完備しました。患者様が実際に調理をし、それを畳の間でご家族と団樂しながら食べられるような、実践的なリハビリにも積極的に取り組んでいます。また、この春に増床予定の回復期リハビリテーション病棟にあわせて新設した北3病棟のリハ室には、患者様の住居環境に合わせて高さを調整できる玄関を設置しました。ドアを開け履物を脱ぎ、框(かまち)をあがるといった、日常生活において不可欠な動作の訓練が、患者様個人の家庭環境に合わせて行なえるよう工夫されています。

## スタッフも充実した 総合リハビリテーション施設

御幸病院のリハビリテーションを支えるスタッフは総勢47名(2009年5月現在)。寝返る、起き上がる、座る、立つ、歩くなどの基本的動作が出来るように援助する理学療法士(PT)23名。風船バレーや折り紙、食事、更衣、トイレといった身近動作など、何かに集中することで精神的緊張を高めて動作を獲得させる作業療法士(OP)が17名。聞く話すといったコミュニケーションや発声訓練、嚥下など、言語機能や摂食機能の訓練を行なう言語聴覚士(ST)5名。他にも痛みの軽減などに有効な治療を施す鍼・灸・按摩マッサージ指圧師やアシスタントが、それぞれの専門分野を活かしながら、患者様ひとりひとりのリハビリ到達目標に向けて尽力しています。

M i y u k i n o s a t o









# 「みゆきの里 健康と食のまつり」開催



6月6日、みゆきの里で「健康と食のまつり」が開催されました。このイベントは、以前まで「健康フェア」というタイトルで毎年秋に開催していたのですが、6月が熊本市の食育月間ということもあり、今年度はこの時期の開催となりました。

今年の「健康と食のまつり」は、朝9時半の「田園WARA-KU(和楽)健康ウォーキング大会」から開始となりました。スタート時はあいにくの雨模様だったのですが、富島理事長が旗を振ってウォーキングがスタートすると、すぐに晴れ渡り快晴となりました。200人近い方々が参加され、5kmのコースを約1時間、楽しく散策されたようです。

ウォーキングを終えた方々が会場に戻ってくる頃、メインステージでは熊本市消防音楽隊によるミニコンサートが開かれました。30分ほどの演奏が拍手喝采の中終わりますと、ここで開会式となります。富島会長が開会の挨拶を述べ、ついでお忙しい中お集まりいただいた来賓の皆様から、お祝いのお言葉をいただきました。

メインステージではその後、平成音楽大学の学生達によるミニステージ、地元の御幸ハッピークラブの皆様による踊り、御幸小学校器楽部の児童達による演奏など、次々に催しが行われました。その間、ステージ前の観客席後方では、みゆきの里職員による健康食や新鮮野菜の販売、リサイクルバザーなどの出店が大賑わい。日赤の炊き出し、済生会福祉センターの手作りパン販売、明和学園・第二城

南学園・カサチコの皆さんの手作り作品販売など、各協力施設のお店も、多くのお客さんを集めていました。

午後からはウェルネススクエア和楽内「健康会場」にて、御幸病院の長尾名誉院長による講演「食と健康の天地人」が開催されました。大河ドラマにちなんで、天と地の間で生きる人間の健康に、「食」がどのような重要な役割を果たしているかを、中医学の考えから説明してもらいました。

健康会場最後のイベントは、熊本出身タレント「スザンヌ」さんのお母さん「キャサリン」さんのトークショー。フリージャーナリスト中村ひろみさんとの対談形式で行われ、中村さんの鋭い質問にキャサリンさんが笑顔で答えるという、とても楽しい雰囲気での対談となりました。もちろん会場は超満員で、対談終了後はキャサリンさんとの写真撮影を希望する方が、列を作って待ってられました。

この間、健康会場では体組成や酸化ストレス、血管年齢等を測定する健康チェックコーナー、日赤熊本県支部の方々による救命デモンストラレーション等も行われており、こちらも大人気でした。また、ボランティアとしてぼたん園に来ていただいている米光絵美さんの刺し子作品展示、みゆきの里ご利用者の様々な作品展示なども行われました。

今回の「健康と食のまつり」は、ウォーキングやキャサリンさんトークショー等初の試みもあり、今まで以上に多くの方々にご来場いただきました。この場を借りて、お礼を申し上げます。みゆきの里は、地域の皆様の健康づくりのパートナーとして、また交流を深めるため、今後もこのようなイベントを継続していく予定です。



## 地域のドクターからの Message

メッセージ

## シームレスなケアをめざして



かたおか整形外科・リウマチ科  
片岡 康文 院長

かたおか整形外科・  
リウマチ科・  
リハビリテーション科  
〒860-0066  
熊本市城山下代町38  
TEL096-329-2222

私は、熊本市の西部地区、高橋稻荷神社の近くの城山下代町という所で、整形外科のクリニックを開業して今年で13年になります。

現在、私たちは大腿骨頸部骨折を起こした患者さんが、よりよい治療やリハビリが受けられるように、五年程前からシームレスケア研究会というグループを立ち上げ活動しております。現在、参加施設は20施設近くになり、御幸病院さんもこのメンバーになっています。

シームレスというのは、「継ぎ目のない」という意味で、医療においては入退院や別の医療機関への転院の際に生じる引継ぎ、申し送り等によるギャップをなくすことを指します。

急性期病院、回復期病院、診療所など機能の異なる医療機関で、同じ一つのクリティカルパスを用いることにより、一人の患者さんが手術、リハ

ビリ、その後のフォローアップとあたかも一つの病院の中で過ごしたのと同じような医療を実現しようというものです。これを実践するために、各医療機関の医師、看護師、リハビリ担当者、ケースワーカーなどの他部門のスタッフが毎月一回、一同に介して連携のための検討会を開いています。

つい先日、御幸病院のリハビリ室に100人を越す各医療機関の多くのスタッフが集まり連携の研究会が開かれました。この活動は、全国的にも評価され現在では診療報酬にまで反映されるようになりました。

今後の多様化する医療、介護において大切なことは、各医療機関や介護施設における連携や患者さんのデータの共有だと思います。よりよい患者さんのQOLを目指しシームレスケア(継ぎ目のない医療・介護の連携)を実践していきたいと考えています。



特集

# 和楽

WAKARAKU

ウェルネススクエア

って

こんなところ!

Vol.7



## ウェルネススクエア和楽 開館6周年ありがとうキャンペーン

ウェルネススクエアは平成21年7月で、開館6周年を迎えます。これを記念し、7月5、6、7日の3日間にわたって、「開館6周年ありがとうキャンペーン」を開催いたします。

期日:平成21年7月5日(日)・6日(月)・7日(火)  
場所:ウェルネススクエア和楽

### キャンペーン①

田園キッチンのバイキングが、3日間限定でお安くなります!

★ランチ(通常700円)→500円  
★ディナー(通常900円)→700円

### キャンペーン②

熊本大学落語研究会による落語競演会、  
題して「ランチ DE 笑ら〜ゃ競演会」!

7月5日(日)  
午後1時より

### キャンペーン③

琴・笙等によるコンサート、「6周年感謝の夕べ」

7月6日(月)  
午後7時より

### キャンペーン④

七夕の日にコンサートとスイーツが楽しめる  
「ありがとう七夕コンサート&スイーツ祭り」

7月7日(火)  
午後7時より

### キャンペーン⑤

腹囲測定でメタボチェック。  
体組成計を使った測定による健康・運動指導  
「脱メタボ!チャレンジデー」

3日間開催  
午後1時〜5時

### キャンペーン⑥

入浴回数券 特別販売  
1日100セット限定!(1セット10枚つづり3,000円)

★入浴1回が450円→300円とお得!

【お問い合わせ】 熊本市御幸苗田西宮前1202  
特定保健指導機関・熊本市介護予防事業委託所  
健康増進センター・老人福祉センター  
ウェルネススクエア和楽

【電話】096-370-2244

## 「免疫力を高める7つの知恵」

介護老人保険施設ぼたん園施設長 江頭洋祐

4月25日、ウェルネススクエア和楽特別企画・市民講座の第4回が開催されました。今回の講師は、御幸病院名誉顧問・ぼたん園施設長、江頭洋祐医師です。

演題は「免疫力を高める7つの知恵」で、加齢に伴って低下する免疫力を以下に高めるか、その方法について例をあげながら分かりやすく解説してもらいました。

また、年齢だけでなく悩みやストレスなど、精神的な面からも免疫力は低下するという点で、心身の健康維持が免疫力を高めるという説明に、来場された皆さんも感心して聞きいっておられました。



## 「手のツボ押し健康法」

御幸病院名誉院長 長尾和治

5月23日、ウェルネススクエア和楽特別企画・市民講座の第5回が開催されました。今回の講師は、御幸病院名誉院長・長尾和治医師です。

「手のツボ押し健康法」と題しての今回の講演は、長尾医師が手の各所にあるツボの効能を説明し、聴衆の皆さんはご自分の手のそのツボを押してみ、効き目を体感するという、非常に実践的な講演でした。

講演を聴きに集められた皆さんも大変熱心で、「自分でツボを押して大丈夫ですか?」とか「鍼を使うのは?」等活発に質問をしておられました。





## ■ 今後の行事予定 Event schedule

7月5・6・7日 和楽6周年記念行事

8月6日 みゆきの里夏祭り



## ■ 担当医表 Charge medicine table

	月	火	水	木	金	土
午前	津出 長尾	吉田 江頭	金沢	川野 長尾	吉田	担当医
午後	本田	本田 長尾	高野	高野 長尾	津出 江頭	

・王研究員の漢方相談…毎週月・水・金の午前・午後  
毎週木の午後 第2・第4火・土の午前

長尾名誉院長 外科(鍼灸漢方)・健康相談を担当します。

吉田院長  
津出診療部長  
川野内科医長  
牛島医師 内科を中心として、種々の診療を担当します。  
本田医師  
高野医師  
岩重医師  
金沢医師

磯貝ホスピス医長 緩和ケア病棟を担当します。

鈴木医師  
江頭医師 呼吸器・アレルギー疾患・心療内科を担当します。

- リハビリテーションの担当医: 川野、吉田、津出、金沢
- 緩和ケア病棟への入院相談 月～土 8:30～17:30(随時)  
相談窓口: 医療連携室

## ■ ニュースリリース News release

### 入社式

4月1日、老人保健施設「ぼたん園」1F多目的ホールにて、平成21年度みゆきの里入社式が開催されました。今年度の新入職員は、医療法人博光会22名、社会福祉法人健成会5名の、計27名。昨年度の中途入職者の方々20名近くを加え、約50名の皆さんが参加されました。

式では新入職員の皆さんを代表し、御幸病院リハビリ室の斉藤雅貴理学療法士が富島理事長より辞令を受けた後、入職の宣誓を行いました。その後、富島会長より新入職員の皆さんに対して訓辞が行われ、各施設長・幹部職員を紹介して、入社式は終了となりました。



### 北3病棟転換のお知らせ

御幸病院は平成21年4月1日をもって、北3病棟(43床)を介護療養型から医療療養型へと転換いたしました。これにより、御幸病院では介護保険利用の療養病床はなくなり、医療療養型病床は北2・北3病棟を併せ94床となりました。この転換は、平成23年度末で全国の介護療養型病床を廃止するという、厚生労働省の方針を踏まえて実施したものです。

さらに北3病棟は平成21年7月1日付で、回復期リハビリテーション病棟へと転換になりました。今後、御幸病院の回復期リハビリテーション病棟は南3・北3病棟を併せ85床に、医療療養型病床は北2病棟のみの51床となります。病棟転換についてのご質問等は、医療介護相談室もしくは医事課までお尋ねください((代表)096-378-1166)



私たちは、地域の人々、利用者ご家族の幸せを願い、保健・医療・福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します。



医療法人博光会

# 御幸病院

#### 【診療科目】

内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・心療内科・神経内科・漢方内科・アレルギー疾患内科・小児科・リハビリテーション科・歯科・麻酔科(ペインクリニック) [医師: 岡崎止雄]

#### 【診療受付時間】

平日 午前8時30分～午後5時  
土曜 午前8時30分～午前12時

※但し急患は何時でも受け付けます。



- 緩和ケア病棟: 20床
- 一般病棟: 30床
- 回復期リハビリテーション病棟: 85床
- 医療療養型病床: 51床
- 併設: 訪問看護ステーション「みゆきの里」

発行/医療法人博光会 御幸病院  
〒861-4172 熊本市御幸苗田6-7-40  
TEL.096-378-1166 FAX.096-378-1762  
メールアドレスinfo@miyukinosato.or.jp  
編集/株式会社 談

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.miyukinosato.or.jp/>